

社会福祉法人 福田会

月次報告書

2026年7月7日 / Vol. 079



ご支援総額

2026年6月30日までの寄付総額

136,741,088 円

寄付金使用総額 1zł = 35円計算

3728448.92 zł (約1億3049万円)

2026/06/01(月)～2026/06/30(火)の期間中の
寄附金使用額

2389.61 zł (83,700円)

ポーランド語教室の実施（語学支援）

提携先NGO Zustriczにて、2026年3月より、3つのポーランド語コースの支援を開始している。夏休みに向けコースは順次修了に向かっており、B1コースは11名、ビジネスコースは8名がコースを修了した。

ウクライナ児童社会統合支援ワークショップの開講

ポーランドの学校に馴染むことのできない子どもやポーランド社会との繋がり（特に同世代との交流）が持てない子どもに対し、日本文化ワークショップを通じて交流の機会を設けることを目的に週に1度ワークショップを開講。

第5回までが終了し、子どもたちは、おにぎり作り・万華鏡製作・白玉だんご作り・折り紙製作を経験した。

どの回でも、子どもたちは家族へのお土産を用意して持ち帰っている様子が目立った。

現地の動向

ポーランドのニュース専門テレビ局TVN24は、2026年7月1日をもって、ポーランドは、大半のウクライナ人に対するOZZセンター (Ośrodki Zbiorowego Zakwaterowania (国が資金提供または運営する難民収容施設) での宿泊費の助成を停止したと報じた。

7月1日以前は、約1万1千人がこの支援を受けており、その半数は子どもである。

今回の変更の対象者は施設入居者の約40%にのぼり、具体的には、1歳以上の子どもを連れたウクライナ人女性・ポーランドの年金（最低額であっても）を受給している年金受給者などが宿泊資格を失う。

ポーランド政府は、複雑な事例についてはケースバイケースで検討すると保証しており、また、子どもたちがセンターに滞在する権利を保証するための別途の改正も準備しているとしている。さらに、地方自治体には子ども連れの家族への追加支援を提供するよう勧告しているが、具体的な仕組みについてはいまだ公表されていない。

